

学校教育目標	豊かに学び 認め合い 咲かせよう笑顔と満足の花 ○基礎・基本を身に付け、自ら問題を発見し、よりよく解決する力を育てます(知) ○自分を大切に、豊かな体験を通して他者とともによりよく生きる力を育てます(徳) ○自ら健康を保持・増進し、心身ともにたくましく生きる力を育てます(体) ○自分の役割や働くことの意義を理解し、地域や社会のために他者と協働する力を育てます(公) ○自分を見つめ、多様性を尊重し、共生する力を育てます(開)				
	創立 58 周年	学校長 秦 巧	副校長 細矢 千穂	2 学期制	一般学級: 13 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 370 人 主な関係校: 大正中学校 大正小学校 東俣野小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
自分づくりに関する力 問題発見・解決能力 自分の考えを伝える力	大正中学校 大正小学校 東俣野小学校 小雀小学校	課題解決に向けて、学習に向かう姿勢を身につけ、ねばり強く学ぶ子ども  ○ITを効果的に活用し、主体的対話的で深い学びを実現する合同授業研究会・協議会を行う。(年2回) ○児童・生徒一人ひとりの声や教育的ニーズをきめ細かく捉え、ニーズに応じた指導・支援を行うための合同研究会・情報交流会を開催する。 ○地域の人的・物的資源を活用し、社会教育との連携を図り、子ども像を地域と共有・連携して育成する。

中期取組目標	<p>○子ども達の夢や希望を育みながら、まちと共に歩む学校づくりを推進します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが様々な学習や体験を通して多くの人やものと出会い、豊かに学べる学校づくりを目指します。</li> <li>・人との関わりやつながりを大切に相手意識、目的意識を育て、子どもたちがお互いの良さを認め合い協力する喜びを実感し、共に成長していこうとする豊かな心を育てていきます。</li> <li>・学校・家庭・地域の中で自己有用感や多くの達成感を感じ、夢や希望をもち、なりたい自分に向かって努力し続ける意欲を高めていきます。</li> </ul>
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 深い学びの授業づくり	【主体的・対話的で深い学びに関わる授業改善・言語能力向上に関わる環境整備】 ①国語科の授業改善を軸に、「伝え合うことで、自分の考えを広げたり、深めたりする子」の育成を目指す。そのために、「目指す姿を明確化すること」「主体的・協働的な学びになるように授業デザインをすること」「振り返りを充実させ、獲得した力を認知させること」の3点を中心に授業研究を行う。②日々の活動から言語能力の向上を目指すために、読み聞かせや獲得した語彙の掲示などを全校で行う。
徳 豊かな心づくり	【人権教育推進・道徳教育推進】 ①人との関わりの中で自分も友達も大切にできる子の育成。人権集会や人権週間、言葉の掲示などを行う。②道徳教育を通して多様性を尊重する子の育成。道徳科の授業改善を図る。③YPアセスメントシートを活用した安心して自分らしさを発揮できる学級風土づくりを全学年で実施する。YP支援検討会や授業を見合おう週間などを通して、児童の実態から支援策を考え、学校全体で取り組む。
体 安全教育 健康教育	①地震・火災・不審者侵入等に備えて自己回避能力を育てるための訓練を年間を通して段階的に行う。訓練前にはIoT機器を活用した事前指導を行い、自分ごととしてとらえられよう安全意識を高め、災害に応じ自己判断して避難ができるようにする。②安全・安心な学校生活を送ることができるようにけが等の未然防止に務め、規則正しい生活を送り、生活習慣を整えて学習に取り組めるよう支援する。③体力向上のために学校全体で子ども主体で計画されたマラソン月間や長縄月間などの体力アップ集会を行う。暑さが厳しい時期にも体力向上を目指すために、ストレッチやバランストレーニングも計画し、実施する。
公 開 公共心 社会参画	【各種行事 特別活動を通じた公共心・社会参画意識の向上】 ①社会的な諸事情も含めた本校の教育的課題に対応した各種行事計画の立案・修正を行う。②行事等のPDCAサイクルによる計画・実施において、子ども自身がやりたいことの実現に向けて、活動の計画を立案・発信する。③子どもが地域と積極的につながることを大切にできるように、総合的な時間や学校行事等を関連付けた学年年間指導計画を作成し、他者との関りの中で一人ひとりの自己有用感を高めることができるようにする。
いじめへの対応	【いじめの未然防止・いじめの積極的認知・いじめの早期解決に向けた取組】 ①よりよい交友関係を構築するために、いじめの積極的認知を行う。月1回以上定期的にいじめ防止対策委員会を実施し、認知された案件の迅速な対応と丁寧な経過観察を行うことで再発防止に努める。②いじめに関する研修を行い、教職員のいじめに対する意識を高める。日常の児童との関わりに加え、スタディーナビでの健康観察・YP支援検討会・教育相談・いじめアンケート等により児童の心の変化を見逃さない体制づくりを行う。
人材育成・ 組織運営(働き方)	【学年主任会・メンター研・働き方推進】 ①実態や課題に合わせた指導と児童の伸びを目指す。学力学習状況調査の分析から指導の方向性を見通すことや、家庭学習の推進、面談や懇談会の工夫を考える研修を実施する。②集団づくりと組織力の向上を目指す。意図的・計画的に学年経営や行事に取り組むことができるような指導の工夫を考える。③生活指導を工夫し、児童の心の安定を目指す。指導観や価値の共有を職員間でも共有し、学校の実態に合った指導を統一できるようにする。
児童理解・学校生活改善	【児童理解・学校生活におけるルールの定着・生活目標】 ①「小雀スタンダード」が児童の実態に合うものであるか検討し、子供の意見を取り入れながら分かりやすい表現に直していく。②児童理解の時間を設定し、児童の状況を全職員で定期的に共有するとともに、教職員の児童理解観を深めるための研修を行う。③不登校児童や保護者の思いに寄り添って、支援方法を探る。
GIGAスクール	【情報活用能力の向上・デジタル学習基盤の環境整備】 ①各学年の具体的な活用技術の目標の設定を行い、授業で扱う内容の端末作業能力の向上を目指す。②情報活用能力の枠組における情報モラル教育の充実を図る。③AIドリルの効果的な活用の仕方を検討し、ICTに関する研修を取り入れる。
基礎的学力向上	【基礎学力の向上 家庭学習の習慣化 指導と評価の一体化】 ①基礎学力の向上を目指すために、校内定期テストの取組を実施し、読み書き計算に関する知識・技能の向上を図る。②学習習慣の確立を図るために、教室・学校環境整備を図ることや家庭学習における各学年間での共通理解を図ることをする。③児童の伸びを把握し、よさを価値づけ、学習意欲を高めることができるような指導と評価の一体化を行う。
キャリア教育推進	【生活科・総合的な学習の時間の推進 特別活動の推進・自分づくりに関する力の推進】 ①自分づくりパスポートの効果的な活用の仕方を推進していく。学校行事等、活用の仕方について打合せ等で周知する。②総合的な学習の時間や生活科の時間の充実を図る。地域と関わる活動を取り入れることができるように検討の時間を設ける。③キャリア教育の推進を図る。全学年に向けた講演会の設定や高学年向けにいくつかの職業に関する方々を招いた機会を提供する。